

渋谷で感じる海

REPORT / 2024 AUGUST

CNUD MEET UP	1 - 9
「渋谷で感じる海」 x 「カカオの森」 コラボカフェ	10
渋谷と海のつながりを体験するワークショップ	11
渋谷駅前サインージュック	12
メディア掲載実績	13

SWITCH

一般社団法人SWITCH

「渋谷で感じる海」プロジェクト概要

6

イベント概要

2.9

1

開催日時 | 2024年8月23日(金) 16:30~18:30

開催形態 | ハイブリッド開催

参加者合計 | オンライン188名/オンサイト参加56名

会場 | SHIBUYA QWS 渋谷区渋谷2-24-12 渋谷スクランブルスクエア15階

Guest Speakers



阿部 晋樹 氏

NEC
デジタルプラットフォームBU
プラットフォーム・テクノロジーサービス事業部門
テクノロジーサービス・ソフトウェア統括部
上席技術主幹



木原 純氏

株式会社 明治
グローバルカカオ事業本部
カカオマーケティング部
CXSグループCacaoism Discoverer



小池 祐之介 氏

株式会社三菱UFJ銀行
経営企画部
サステナビリティ企画室 調査役



馬場園 晶司 氏

学校法人文化学園
文化ファッション大学院大学
ファッションクリエイション専攻
ファッションデザインコース主任教授



篠 健司 氏

パタゴニア日本支社
環境社会部 ブランド・
レスポンスビリティ・
マネージャー



高橋 浩平 氏

豊田通商株式会社
サステナブルファッション部



関 幸太郎 氏

ELLANGE INC.
代表取締役



安田 仁奈 氏

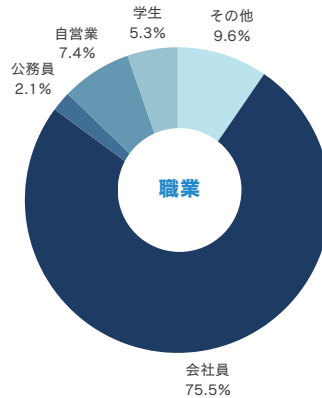
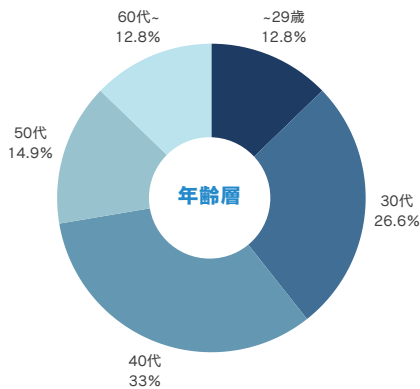
東京大学大学院
農学生命科学研究科
教授



河口 尚志 氏

渋谷区立臨川小学校
校長

参加登録者データ



参加者の所属組織

- 豊田通商(株)
- Toyota Tsusho (Taiwan) Co., Ltd.
- 豊通ファッションエクスプレス(株)
- (株) 明治
- 日本電気(株)
- 三菱UFJ銀行
- (株)JT B
- パタゴニア東京・渋谷ストア
- (株)ケーポータル
- (株)リトルリーグ (RonHerman)
- (株)読売新聞
- Avantium Japan(株)
- MASATO YAMAGUCHI DESIGN ODDICE
- MC Planning, Inc.
- 日本電気(株)
- 豊Pacific Spatial Solutions(株)
- Persefoni Japan合同会社
- Verve coffee roasters Japan
- (株)パーテックスジャパン
- (株)ピギホールディングス
- (株)ヘアトリチェ
- (株)リトルリーグ
- (株)電通
- 東急不動産ホールディングス
- (株)東急エージェンシー
- (株)読売広告社
- (株)読売新聞
- 三井デザインテック(株)
- 福助(株)
- 住友金属鉱山(株)
- 信託銀行(株)
- 西武信用金庫
- 信託銀行(株)
- 西武信用金庫
- 大日本印刷(株)
- 帝人(株)
- 東レ(株)
- 日置電機(株)
- Persefoni Japan合同会社
- Verve coffee roasters Japan
- セーレン(株)
- テックビジネスサービス(株)
- パナソニック(株)
- 旭化成ホームズ(株)
- 一般社団法人NAP
- 一般社団法人首都圏産業活性化協会
- 一般社団法人渋谷駅前エリアマネジメント
- 一般社団法人渋谷未来デザイン
- (株)JR東日本建築設計
- (株)Luup
- (株)UPDATER
- (株)ゴールドウィン
- (株)サルベージ・クリエイティブ・トウキョウ
- 渋谷区
- 渋谷区立臨川小学校
- 世界自然保護基金ジャパン
- 日本フェアトレード・フォーラム
- 明治大学
- 國學院大学
- 他

主催



一般社団法人 SWITCH

共催



一般社団法人渋谷駅前エリアマネジメント

協賛



株式会社 明治



豊田通商株式会社



日本電気株式会社

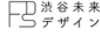
後援



渋谷区



渋谷区教育委員会



一般社団法人渋谷未来デザイン

協力



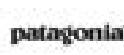
日本ブランクトン学会



三菱UFJ銀行



Ellange株式会社



パタゴニア日本支社

文化ファッション
大学院大学

助成

日本財団
海と日本プロジェクト

渋谷区立臨川小学校



渋谷区立笹塚中学校



ISCA TOKYO



東急株式会社



東急不動産株式会社

調査
設計
協力

総合地球環境学研究所



株式会社明治 木原純氏、NEC 阿部晋樹氏、株式会社三菱UFJ銀行 小池祐之介氏、文化ファッション大学院大学 馬場園晶司氏より、各企業の環境問題に取り組む活動について紹介していただきました。

01.



木原 純氏

グローバルカカオ專業本部
カカオマーケティング部 CXSグループ Cacaoism Discoverer

明治では、フルーツであるカカオ全体の価値を高めるため「ひらけ、カカオ。」をスローガンにて、社会課題解決に向けたアクションを実施しています。チョコレート の付加価値向上はもちろぬ、カカオ新素材とあまり流通していないカカオの果肉を使用した、カカオフラバノールエキスシリーズ等の新たな栄養価値の創造を積極的に行っています。暑い夏でもカカオを楽しく食べてもらえるよう、ドリンクやゼリーの販売も開始しています。また、カカオ豆の皮「カカオハスク」の活用に向けて、カカオ セラミドの素材化やファッション製品（EDWINとのコラボアイテム等）の開発も行っています。私たち明治は、カカオに関わる全ての人を笑顔にする為に挑戦を続けていきます。

阿部 晋樹氏

デジタルプラットフォームBU プラットフォーム・テクノロジーサービス事業部門
テクノロジーサービス・ソフトウェア統括部 上席技術主幹

NECでは、ICT技術を活用してプラスチック製品のリサイクルに貢献していきたいと考えています。日本は、プラスチックの年間廃棄量が世界4位(2019年時点)の国です。大量に廃棄されたプラごみが適切に処理されなければ海洋マイクロプラスチックの問題を引き起こします。その為、循環型のリサイクルシステムを構築して行く必要がありますし、消費者はより環境に良い購買選択（製品の選択は未来の選択）を取って行く必要があります。私たちNECは、環境に配慮したリサイクル製品を選んでもらうため、内閣府の「戦略的イノベーション創造プログラム」に参画し、サーキュラーエコノミーの実現に向け、「プラスチック情報流通プラットフォーム」（製品のライフサイクルを記録）の構築を推進しています。車の部品を皮切りに、将来的には日用品含め多くのプラスチック製品にも力を入れていきたいと思っています。

NEC

02.



03.

UFJ



小池 祐之介氏

経営企画部 サステナビリティ企画室 調査役

MUFGは、投資資を通じてお客様やそのサプライチェーンのネイチャーポジティブな活動と繋がりを持つことで、海や川などの自然資本に影響を与えています。金融機関として実施していることを情報開示するために、今年4月に初めて「MUFG TNFDレポート」をリリースしました。MUFGの5つのマテリアリティの内、ブルー領域に関しては、「スタートアップ支援・協働」（環境データの可視化や、自然資本に貢献する技術等の多様な領域のスタートアップに出資）と「ブルーファイナンス」（持続可能な漁業、湿地や沿岸部の保全等、海洋や水関の事業を支援するファイナンス）に力を入れています。私たちMUFGは、自然資本に関わる様々なビジネス機会の中で、お客様の取り組みを支援するとともに、幅広いステークホルダーとの協働を進めて行きます。

馬場園 晶司氏

ファッションクリエイション専攻ファッションデザインコース主任教授

BFGUは、日本発のファッション分野の専門職大学院で、ファッション業界のサステナビリティ人材育成において力を入れています。今回の「渋谷で感じる海」プロジェクトでは、アート作品の制作を修了生4名が協力しました。BFGUのサステナブル関連の科目は、2022年度からカリキュラムに導入しています。「ファッション業界のサステナビリティに関する基礎知識」や、「ファッション産業界の現状の問題を理解し、解決方法と新モデルの創出を図る」等の科目を取り入れ、研究課題に取り組んでいます。産学連携プロジェクトでは、余剰在庫衣服や廃棄される生地を利用して、新たな価値を創出するアップサイクルプロジェクトを実施するなど、実践的な取り組みも行っています。再生素材や認証素材を使用した環境負荷の低い衣類のブランド展開をする修了生を輩出しています。

04.



From The OCEAN

15

Material : 廃漁網100%の布、同素材の糸、PETリサイクルシート、鉄、LED light
 Dimension : ブランクトン大 4m x 4m x 4m / ブランクトン小 2m x 2m x 2m

Lemie.

SWITCH サステナブルアーティスト

- 2021 COP26()
 LVMH) Maison O Award
 : Central Saint Martins
- 2022 Stockholm+50 UN Environment Programme
 2023 G7
 2024 One Young World Japan Caucus



海洋プラスチックの約50%が漁網や漁具由来と言われる中、本プロジェクトは漁網のリサイクルに着目しました。
 投棄前回収の重要性を踏まえ、廃漁網100%の生地Netplus®を使用。縫糸も同素材とし、展示後も継続的な資源利用を可能にしています。



漁網



廃漁網の回収



原料に戻す



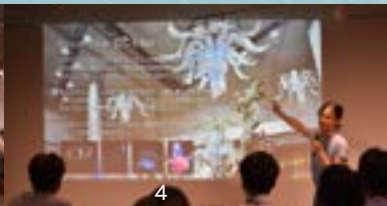
ナイロン生地



アート



再利用



海洋問題に対する取り組みを行っている企業や、海洋関係のアカデミアと一緒に「海と人間の共存」について話し合うトークセッション。都市で出来るアクションを考える機会を作り、意識変容を促します。



安田 仁奈 氏

東京大学大学院農学生命科学研究科 教授

海洋生態系の生物多様性や保全に関する研究を行っています。サンゴ礁を中心とした生物の種分化の起源や、遺伝子を用いた種の整理と分類、海洋保護区の設定のための海洋生物の初期生態の解明を日々研究しています。海への理解を深め未来の世代にとっても幸せな海洋環境を残すための研究を行うこと、その分野の人材育成を大切にしています。

関 幸太郎 氏

ELLANGE INC. 代表取締役

2021年から海産物の卸売り事業を始め、漁師の方々を取り巻く環境や海洋問題の解決に貢献したいと思い、2022年より漁網のリサイクル事業をスタートさせました。立ち上げのタイミングで、漁網リサイクルのサプライチェーン構築を行っているBUREO（米国）と繋がり、昨年パートナーシップを結び、国内でのサプライチェーン構築に向け活動しています。漁師の方々を巻き込みながら、企業ミッションである「私たちは、誰もが海を想う会社を作る」ことを実現していきたいと思っています。



高橋 浩平 氏

豊田通商株式会社 サステナブルファッション部

豊田通商は、産業ライフサイクルを通じた温室効果ガスの削減貢献事業を通じ、CE・CN社会の実現に向けた社会課題の解決に貢献しています。総合商社として、様々な分野で2050年のカーボンニュートラルに向け取り組んでおり、繊維領域としては、環境負荷の大きいアパレル産業界でサーキュラーエコノミーの実現（PATCHWORKS®）に取り組んでいます。漁網の循環に関しては、BUREOへの投資やケミカルリサイクルされたナイロン繊維の生地を開発・製造し、世界中のアパレルブランドへの販売を行っています。私は、台湾支社に駐在し、リサイクル素材の開発の役割を担っています。

篠 健司 氏

パタゴニア日本支社 環境社会部 ブランド・レスポンスビリティ・マネージャー

パタゴニアは、「無駄になる運命にあったものをずっと使えるものに。」というミッションの元、漁網のリサイクル生地を使った製品を企画・販売しています。気候危機はパタゴニアのビジネス課題と認識しており、大量廃棄や化学繊維の大量利用など環境負荷の高い衣料品業界を変えていくために、日々真剣に考えて製品開発を行っています。



河川 尚志 氏

渋谷区立臨川小学校 校長

本校は、渋谷川のすぐ側にある小学校で、近くの川で毎年「螢祭り」を開催するなど、環境問題やプランクトンとの関係性が深いです。その為、今回の「渋谷で感じる海」プロジェクトに参加しました。7-8月の授業では、海洋ごみの現状についてのレクチャーやプランクトンの観察を行い、集大成として「地球を元気にするプランクトン」を想像力豊かに画に落とし込む授業をSWITCHと行いました。子ども達がこの学びをきっかけに、今後も海洋問題に触れ、自分たちができることは何かを考えられるようにしていきたいと思っています。

Message



SWITCH
代表理事
佐座 マナ

東京大学
大学院 教授
安田 仁奈

渋谷区立
臨川小学校 校長
河口尚志

ELLANGE INC.
代表取締役
関幸太郎

豊田通商
株式会社
高橋浩平

パタゴニア
日本支社
篠健司

Q. 次世代を担う子ども達は、気候変動をどうとらえているのか？

河口 氏 近年地球沸騰化と言われているように、WBGT（熱中症指数を特定）31℃を超えると外遊びができないことや、プールに入れないこと等、子供たちの学びに影響が出ています。気候変動を言葉で理解することは難しいですが、外で遊ぶ中で得られるコミュニケーションの機会が減っていることは実感として感じています。

Q. 海の中ではどのようなことが起きているのか？

佐座 氏 陸に住む子ども達は、暑くて外遊びが出来ていない状況にいますが、海の中はどのようになっているのでしょうか？

安田 氏 日本の海は、実は世界で見て最大級の温暖化が進んでいます。黒潮（暖流）の影響で日本は高緯度ですが、サンゴや熱帯生物がいる生物多様性が非常に高い沿岸を持っているのが特徴です。しかし、日本の南側沿岸の水温の100年間のデータを見ると、1.2℃上昇していることが分かっています。（世界平均は+0.5℃）温暖化の影響で、草食魚が増え藻類が少なくなり、サンゴ等が増え日本の海の熱帯化が進んでいます。2017年の館山の小さかったサンゴは、今年は非常に大きく成長していたことに驚きました。寒い所に生息していた生き物がいなくなり、これまで見たことのない魚の種類が取れるようになっているのが今の現状です。

Q. 海洋の生態系を守るために、取り組んでいることは？

佐座 氏 海の中の環境や温度が変わっている問題が起きている中で、陸に住む私たちに出来ることは何か？を考えるきっかけ作りをする為に、本プロジェクトを開催しました。アート作品には、循環型のマテリアルを使いたいと思い、海洋ごみで問題になっている漁網を使うことに決めました。

関 氏 漁網の中でもナイロンやポリエステル素材は水より比重が重く沈んでしまい、一度海に流出してしまつたら回収が難しいです。漁網がサンゴや海藻類にかかると呼吸が出来なくなり、そこに集まる魚が少なくなり、漁師の方々に影響が出てしまいます。その為、漁師と共に廃棄する漁網を回収し、有価で引き取ることや海洋流出を防止する取り組みを行っています。船と直接契約し、回収を行っているので、トレーサビリティの確保が可能ですし、漁師の方々に副収入をもたらすことや、コミュニティを盛り上げることを目指しています。今では、千葉・茨城エリアでの安定的な回収の体制は構築できました。

佐座 氏 漁網を回収した後に、どのように資源として活用していくのか？技術開発の苦労などありますか？

高橋 氏 私たちは、Patagoniaなどのブランド向けに漁網のリサイクル素材を開発しています。漁網は比較的可リサイクルしやすい資源ではありますが、まだ技術的な要因もあり浸透はしていないと思っています。回収した漁網は、台湾でケミカルリサイクルという方法で、ペレット・糸作りを行っています。生地作りは、国内の北陸地域のパートナーと一緒に開発を行っています。バージン素材と遜色ないクオリティや耐久性、機能性を保つことはもちろん、RonHermanのようなファッションブランドが求めるデザイン性も組み込みながら、生地作りを追求しています。

篠 氏 Patagoniaは、「最良な原材料の使用」「最高の製品作り」「製品の寿命最大化」に対してフォーカスしています。特に原材料においては、環境再生型農業（天然繊維）、二次廃棄物の分別（漁網等）、社会的な価値（フェアトレード等）に注力しています。漁網リサイクル素材は、Patagonia製品の全体で20%使用しています。2025年ゴールに、100%望ましい素材の採用、Forever Chemicalの排除などを掲げております。また、できるだけ長く使ってもらえるような循環の取り組みを行っています。

Q. 資源を循環する取り組みで足りてないことはなにか？

高橋 氏 足りてないことは沢山ありますが、今はごみとなっている資源が、漁網のように新しいリサイクル資源になり得ることを意識することが大切だと思います。私たちのパートナーであるBUREOは、12年前に漁港に山積している廃棄漁網を見て、何かに有効活用出来ないかと考えて取り組みをスタートさせています。イメージーションが大切だと思います。まだまだ購買選択する上でSDGsを意識する人は多くは無いと思いますが、消費者がより良い選択肢を持つことが大事だと思います。購入して頂く以上、良い商品を提供できるよう後押ししていきたいと思っています。

佐座 氏 消費者は、商品を購入する際にしっかり原材料を確認して選択することも大切だと分かりました。それと同時に社会システムの中で、ごみをどのように有効活用し循環させることができるのかを真剣に考えることが大事になります。

参加者からの質問

Q. サンゴが温暖化で白化現象が起きていると聞きましたが、今年はどうですか？

安田氏 今年も猛暑の影響で、沖縄の海を中心にかなり白化が進んでいます。台風が来ると、水温が下がり白化を免れることがありますが、今年の台風の経路は沖縄付近の海を冷やす台風が来ていないのが原因として考えられます。世界的に見ても白化のインターバルは短くなり、多く発生しています。漁網リサイクルの取組みは、環境学から見ても素晴らしいと思います。マイクロプラスチックは有害物質を吸着してしまうので、それを防ぐことは、海をきれいにすることはもちろん、食(魚)を守ることも繋がっています。

Q. 日本の海から回収した漁網由来の商品開発は考えていますか？

篠氏 現時点では、日本の漁網由来の原材料は使用していませんが、今後Eilangeが回収した漁網を使用した製品が出来ればとは思っています。トレーサビリティが取れているのでチャンスはあると思います。製品企画は、全てアメリカ本社で行っているため、このような企画の提案は既に本社に行っています。

Q. 釣り人として感じる川や海の変化はありますか？

河口氏 釣りが大好きですが、網は捨てていません(笑)。昨年に相模湾に行きましたが、黒潮の影響で取れる魚の種類が全然違ってました。毎年、夏休み終わり頃はカツオやマグロが取れますが、昨年は10月末-11月初頭でした。今年の変化としては、東京湾で採れるタチウオが、今の時期に相模湾で釣れるので、黒潮や地球沸騰化の影響を感じています。



Message



篠氏：本日は海の危機についてお伝えしましたが、海は炭素吸収や健全なタンパク質を提供する等、様々な享受を与えてくれる場所でもあります。人間が作った問題は、人間が解決しなければならないと思います。皆様と一緒に海の再生に取り組んで行きたいと思えます。



高橋氏：環境対応とビジネスの両立は難題だと思いますが、漁網リサイクルの事例は良いモデルケースだと思っています。日本の漁網を日本で使うことはやっていきたく思いますので、皆様のご支援を頂きながら実現出来ればと思います。



関氏：千葉の漁師の方々は、今年の2-3月は月に2回程度しか出漁が出来ていないです。漁に出れないと、魚も採れないですし、漁網を使う機会も少なくなってしまう。現在においては漁網は有益な資源ではありますが、将来的にビジネス自体も形を変える必要があるかもしれないので、本日は皆様と一緒に考えるきっかけになったかと思えます。



河口氏：本日の学びを子ども達に伝えることが、とても大切だと思いました。循環や継続がキーワードとして出た中で、子ども達に知識のインプットだけでなく、どのように行動に結びつけるかを教えながら実践する事が重要だと感じました。



安田氏：太陽光から地球に住む人間・生物は必ずどこかで繋がっています。自分の活動が繋がりの中でどのように影響を及ぼすのか、想像力を持ちながら行動変容を行うことで、社会全体がよりよい方向に向かうかと思っています。人間が自然の変化に合わせていく必要があるため、やることはまだまだ沢山あると思います。



佐座氏：海の現状、海の課題を解決する動き、次世代を担う子ども達への教育に関してお伝えたく、本日のパネリストにお声掛けさせて頂きました。ビジネスの中で環境にどう関わっていくかを考える良いきっかけになったかと思えます。

Part 4 |



Part 5 |





コーヒーやシュークリームを展開している『UP LIGHT CAFÉ』とコラボレーション。

「海と森はつながっている」という観点から海洋問題や森林問題など、地球に関心をもつきっかけを作ります。

店内には、様々な社会課題を抱える「カカオ」に関してのポスター展示やカカオの新素材を使ったドリンクなどを楽しめます。

ドリンク

8月17日～31日、巨大プラントン展示会場内のUPLIGHT COFFEEで株式会社 明治が、チョコレートにとどまらないカカオの活用法を紹介。カカオ豆から抽出した新素材とカカオ果汁を組み合わせた「カカオはフルーツ」ということを体験できるフルーティーなジュースや、カカオ豆の皮である「カカオハスク」を生生活インテリアやアパレルに応用した事例など。期間限定で2種類のオリジナルカカオドリンクも愉しめる。



カカオフラバノールゼリースパークリング

カカオの常識を覆す、カカオ果汁たっぷりの甘酸っぱいスパークリングドリンク。ゼリーの食感がアクセント。カカオ豆から抽出した赤いフラバノールエキス入り。



カカオドリンクwithフロート

高カカオチョコと水で仕立てた、ひんやりピターなチョコレートドリンクに、マダガスカルバニライスをオン。ブラジル産カカオの華やかな香りが十分に楽しめるドリンク。

店内ポスター



動画カカオはフルーツ！

チョコレートの原材料となるカカオ豆は、カカオの実のわずか10%。「カカオ」は資源として多様に活用されはじめています。じつはカカオはフルーツ。カカオ豆のまわりには甘酸っぱい果肉がたっぷり。果肉をしぼった果汁にカカオ豆から抽出したエキスとブレンドするとフルーティーで健康的な味わいのジュースやゼリーに。カカオ豆の皮「カカオハスク」は加工するとコースターになったり、デニム生地地の素材として使われ、ジャケットにも。チョコレートにとどまらず、ゼリーやアパレルにまで応用できるカカオの活用法に注目です！



7月~8月の期間、日本財団 海と日本プロジェクトの助成を受け、小中学生を対象とした全5回のワークショップを実施しました。渋谷区をはじめとする小中学校19校からのべ220名の児童が参加し、環境教育と創造的活動を体験しました。この活動を通じて、子どもたちの環境問題への理解と創造的な問題解決能力の育成を図りました。

ワークショップ内容



海洋プラスチック



生活・工場排水



原油



CO₂

解決したい海洋問題を考える

東京都渋谷区の臨川小学校と笹塚中学校、イギリスのISCAの学生の皆さんがプランクトンの役割と気候変動の問題について学びました。そして、描いてくれたのが「地球を元気にするプランクトン」です。「環境問題を解決したい!」という気持ちで楽しみながら新しいアイデアを次々と出してくれました。



顕微鏡で川や池のプランクトンを観察する様子



「プランクトンと海」についてのレクチャーを聞いている様子



“地球を元気にする”プランクトンの画を描いている様子

実施日程

臨川小学校

対象：臨川小学校4年生
開催日程：2024年7月5日(金)・9日(火)・16日(火)
開催場所：渋谷区立臨川小学校

笹塚中学校

対象：笹塚中学校1-3年生
開催日程：2024年7月16日(火)
開催場所：SHIBUYA QWS

夏休みオープンワークショップ

対象：小学生高学年(4-6年生)
開催日程：2024年8月4日(日) 14:00-17:00
言語：英語と日本語(同時通訳あり)
開催場所：SHIBUYA QWS

ワークショップの中で、学生が考えて描いた“地球を元気にするプランクトン”の絵を解説付きで特設サイトに掲載しています。



プラスチックプランクトン

海に捨てられたプラスチックゴミを食べて海にあったゴミをなくすプランクトン。



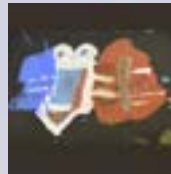
ビニールくん

ビニール袋を食べるプランクトン。大きな口で大きなビニール袋が食べられる。



エビウニ

海や砂浜でウミガメなどの産卵場所を作ってくれる魚。



マイクロプラスチック食プランクトン

マイクロプラスチックを食べて、水をきれいにし「地球を元気にする」プランクトン。

プランクトン図鑑サイト



<https://switch.bio/challenge-15/event/gxshibuya2024/fieldguide/>

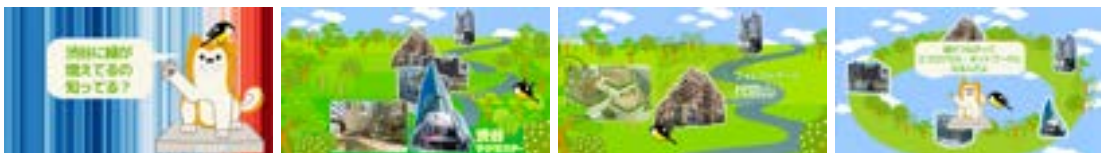


渋谷駅前にあるサイネージ5ヶ所で企業の環境に関する取り組みを15秒動画で放映しています。

渋谷を訪れる人が、少しでも地球環境や企業が取り組む環境活動について学び、環境に対する意識を持ち、行動を変容してもらえるきっかけをつくります。

渋谷に緑が増えてるの知ってる？

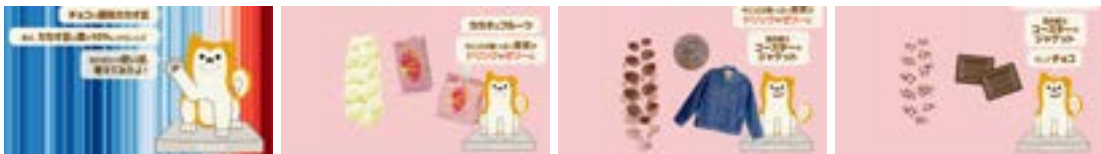
東急不動産ホールディングス



エコロジカル・ネットワークとは、さまざまな生き物の生息地がつながる生態系ネットワークのこと。東急不動産ホールディングス株式会社は、渋谷駅から半径2.5kmのエリアにあるオフィスや商業施設を緑化し、明治神宮や代々木公園などの大規模緑地とつなぐことで、そこに住む鳥類や昆虫類など生き物たちの中継地点とし、生態系を保全しています。渋谷の企業がつながり、緑いっぱいの街をつくっていきます。

カカオはフルーツ！

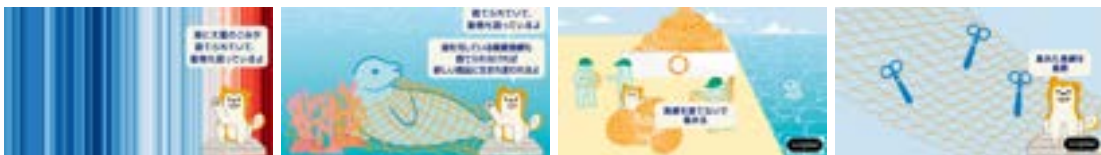
株式会社 明治



チョコレートの原材料となるカカオ豆は、カカオの実のわずか10%。「カカオ」は資源として多様に活用されはじめています。じつはカカオはフルーツ。カカオ豆のまわりには甘酸っぱい果肉がたっぷり。果肉をしぼった果汁にカカオ豆から抽出したエキスとブレンドするとフルーティーで健康的な味わいのジュースやゼリーに。カカオ豆の皮「カカオハスク」は加工するとコースターやデニム生地素材として使われています。ゼリーやアパレルにまで応用できるカカオの活用法に注目です！

廃棄漁網を価値ある商品に再生

豊田通商株式会社



海には大量のこみが捨てられていて、動物たちも困っています。廃棄漁網も、捨てられなければ新しい商品に生まれ変わることができるのです。廃棄漁網を価値ある商品に再生しようという取り組みから、NetPlus®が誕生。海洋プラスチックの約50%が漁網や漁具と言われています。廃棄される前に回収しリサイクルし、資源として継続的に使い続けることが大切です。都市こそが自然に大きな影響を与えています。買い物をするとき、環境に配慮した商品を選んで、生態系を守りましょう。

今後の放映予定

Orchestrating a brighter world
NEC
日本電気株式会社

東急
東急株式会社



サイネージャーカブ

<https://switch.bio/challenge-15/event/gxshibuya2024/fieldguide/>

取材実績

- ・ The Asahi Shimbun SDGs ACTION/朝日新聞 <https://www.asahi.com/sdgs/article/15397510>
- ・ ELLE ACTIVE! for SDGs/株式会社ハート婦人画報社 <https://www.elle.com/jp/culture/a61859366/switch-art-project-2408/>
- ・ WWD Japan/株式会社INFAS/パブリケーションズ <https://www.wwdjapan.com/articles/1890972>
- ・ +FUN SHIBUYA PROJECT/一般社団法人渋谷駅前エリアマネジメント <https://shibuyaplusfun.com/news/detail/?cd=000155>
- ・ 一般社団法人渋谷未来デザイン <https://fds.or.jp/news/886/>
- ・ Yahoo! ニュース 「渋谷のど真ん中に巨大プラントン！ 環境問題をアートで考えるイベントに込めた思い」 2024年8月26日配信
- ・ (ラジオ放送) J-WAVE/BLUE IN GREEN 8/24放送
- ・ (テレビ放送) フジテレビ/フューチャーランナース 10月放送予定
- ・ (テレビ放送) B S テレ東「みんなのあおいろ」10月放送予定
- ・ 日本財団 海と日本プロジェクト公式Youtube配信 10月放送予定



プレスリリース転載実績

- ・ DIME (アットタイム) /株式会社小学館 https://dime.jp/company_news/detail/?pr=1886161
- ・ CREA WEB (クレアウェブ) /株式会社文藝春秋 <https://crea.bunshun.jp/ud/pressrelease/66bec4d1af6d3412fa000006>
- ・ BEST TIMES (ベストタイムズ) /株式会社ベストセラーズ https://www.kk-bestsellers.com/articles/-/press_release/3076587/
- ・ 銀座経済新聞/株式会社グリーンアソシエイツ <https://ginza.keizai.biz/release.php?id=318876>
- ・ 市ヶ谷経済新聞/モルスハルス株式会社 <https://ichigaya.keizai.biz/release.php?id=318876>
- ・ 赤坂経済新聞/株式会社博覧堂ケトル <https://akasaka.keizai.biz/release.php?id=318876>
- ・ シンヤ経済新聞/株式会社花形商品研究所 <https://www.shibukei.com/release.php?id=318876>
- ・ 六本木経済新聞/株式会社博覧堂ケトル <https://roppongi.keizai.biz/release.php?id=318876>
- ・ 新宿経済新聞/クール株式会社 <https://shinjuku.keizai.biz/release.php?id=318876>
- ・ 自由が丘経済新聞/株式会社花形商品研究所 <https://jiyugaoka.keizai.biz/release.php?id=318876>
- ・ 立川経済新聞/株式会社シースバレット <https://tachikawa.keizai.biz/release.php?id=318876>
- ・ 吉祥寺経済新聞/クール株式会社 <https://kichijoji.keizai.biz/release.php?id=318876>
- ・ 品川経済新聞/有限会社ノオト <https://shinagawa.keizai.biz/release.php?id=318876>
- ・ 下北沢経済新聞/本屋B&B <https://shimokita.keizai.biz/release.php?id=318876>
- ・ 八王子経済新聞/ファクトリー・ジニアス合同会社 <https://hachioji.keizai.biz/release.php?id=318876>
- ・ 調布経済新聞/NPO法人調布市地域情報化コンソーシアム <https://chofu.keizai.biz/release.php?id=318876>
- ・ 東京ベイ経済新聞/株式会社グリーンアソシエイツ <https://tokyobay.keizai.biz/release.php?id=318876>
- ・ おたくま経済新聞/シー・エス・ティー・エンターテインメント株式会社 <https://otakuma.net/prtimes/08163388351.html>
- ・ リビング東京Web/株式会社サンケイリビング新聞社 <https://mrs.living.jp/tokyoo/release/article/5826238>
- ・ SEOTOOLS/プラストホールディングス株式会社 https://www.seotools.jp/news/id_000000002.000148041.html
- ・ ハビママ/びあ株式会社 <https://ure.pia.co.jp/articles/-/2355272>
- ・ Infoseek ニュース (インフォシーカーニュース) /楽天グループ株式会社 https://news.infoseek.co.jp/article/prtimes_000000002_000148041/
- ・ 時事ドットコム/株式会社時事通信社 <https://www.jiji.com/jc/article?k=000000002.000148041&g=prt>
- ・ 朝日新聞デジタルマガジン & [and]/株式会社朝日新聞社 <https://www.asahi.com/and/pressrelease/424968177/>
- ・ dメニューマネー/株式会社NTTドコモ https://money.smt.docomo.ne.jp/news-detail/1521803?ref=media-articles_company
- ・ めざましmedia (めざましメディア) /株式会社フジテレビジョン <https://mezamashi.media/article/15390803>
- ・ 東洋経済オンライン/株式会社東洋経済新報社 <https://toyokeizai.net/ud/pressrelease/66bec9cfaf6d345526000051>
- ・ JBpress (ジェイビープレス) /株式会社日本ビジネスプレス <https://jbpress.ismedia.jp/ud/pressrelease/66bec4dbaf6d343da7000013>
- ・ ニコニコニュース/株式会社ドワンゴ <https://news.nicovideo.jp/watch/nw16256939>
- ・ PRESIDENT Online (プレジデントオンライン) /株式会社プレジデント社 <https://president.jp/ud/pressrelease/66bec49ef6d345a13000013>
- ・ ORICON NEWS(オリコンニュース)/オリコン株式会社 <https://www.oricon.co.jp/pressrelease/1991970/>
- ・ NewsPicks/株式会社ユーザベーズ https://newspicks.com/news/10412037?ref=user_2172
- ・ @niftyビジネス/ニフティ株式会社 https://business.nifty.com/cs/catalog/business_release/catalog_pr000000002000148041_1.htm
- ・ マピオンニュース/株式会社ONE COMPATH <https://www.mapion.co.jp/news/release/000000002.000148041/>
- ・ BIGLOBEニュース/ビッグロウ株式会社 https://news.biglobe.ne.jp/economy/0816/prt_240816_1555690700.html
- ・ アキバ経済新聞/デジタルハリウッド株式会社 <https://akiba.keizai.biz/release.php?id=318876>
- ・ antenna(アンテナ)/株式会社グライダーアソシエイツ <https://antenna.jp/articles/23915832>
- ・ 茨城新聞クロスアイ 株式会社茨城新聞社 https://ibarakinews.jp/news/newsdetail.php?i_jun=c&id=148041_r2&elem=prt
- ・ さんにちEye 山梨日日新聞電子版/株式会社山梨日日新聞社 https://www.sannichi.co.jp/prtimes/others/c148041_r2
- ・ 現代ビジネス/株式会社講談社 <https://gendai.media/ud/pressrelease/66becb4af6d34516a000064>
- ・ さんたつ by 散歩の達人/株式会社交通新聞社 <https://san-tatsu.jp/pressrelease/336500/>
- ・ TBS NEWS DIG/TBS・JNN NEWS DIG合同会社 <https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/1362255?display=1>
- ・ 池袋経済新聞/株式会社YAKIMAYO <https://ikebukuro.keizai.biz/release.php?id=318876>
- ・ 中野経済新聞/信慶 ICT パートナーズ株式会社 <https://nakano.keizai.biz/release.php?id=318876>
- ・ 日本橋経済新聞/日本橋経済新聞 <https://nihombashi.keizai.biz/release.php?id=318876>
- ・ 練馬経済新聞/株式会社ビール <https://nerima.keizai.biz/release.php?id=318876>
- ・ 高円寺経済新聞/有限会社ホットワイヤグループ <https://koenji.keizai.biz/release.php?id=318876>
- ・ TRACY (トライシー) /株式会社トライシーヤパン <https://release.tracy.com/posts/20240816563317/>
- ・ iza (イザ!) /株式会社産経デジタル <https://www.iza.ne.jp/pressrelease/prtimes/DCFK442DNKITHAV2RBT5IXSSM/>
- ・ エキサイトニュース/エキサイト株式会社 https://www.excite.co.jp/news/article/Prtimes_2024-08-16-148041-2/
- ・ eltha (エルザ) /オリコン株式会社 <https://beauty.oricon.co.jp/pressrelease/1992007/>
- ・ 産経ニュース/株式会社産経新聞社 <https://www.sankei.com/pressrelease/prtimes/DCFK442DNKITHAV2RBT5IXSSM/>
- ・ ウレびあ総研/びあ株式会社 <https://ure.pia.co.jp/articles/-/2355249>
- ・ とれまがニュース/株式会社サイトスコープ <https://news.toremaga.com/release/others/3227992.html>
- ・ 暮らしニスタ (クラシニスタ) /株式会社主婦の友社 <https://kurashinista.jp/pressrelease/detail/505557>
- ・ WalkerPlus (ウォーカープラス) 株式会社KADOKAWA https://www.walkerplus.com/release/c148041_r2/
- ・ 毎日新聞デジタル/株式会社毎日新聞社 <https://mainichi.jp/articles/20240816/pr2/00m/020/091000c>
- ・ 30min. サンゼロミニッツ/株式会社イーアド <https://30min.jp/release/prtimes/detail/486635>
- ・ ジョルダンニュース! ジョルダン株式会社 <https://news.jordan.co.jp/docs/news/detail.cgi?newsid=PT0000002A000148041>

合計 **69** 件
2024年8月未現在

SW:TCH

地球ひとつで暮らしていくために

SW:TCH

一般社団法人 SW:TCH

SW:TCHは、「地球1つで暮らしていく」ために
若者と大人世代が共創するプラットフォームです。



公式サイト：
[https://switch.bio/
contact@switch.bio](https://switch.bio/contact@switch.bio)



イベント公式サイト：
[https://switch.bio/challenge-
15/event/gxshibuya2024/](https://switch.bio/challenge-15/event/gxshibuya2024/)

イベントアーカイブ：
[https://www.youtube.com/wa
tch?v=pk_lfbAhSZQ](https://www.youtube.com/watch?v=pk_lfbAhSZQ)